

# 松山学院勢 メダル量産

## 全国高校選抜自転車 金井・中村・近田が「銅」



男子3000㊦個人追い抜きで3位に入った松山学院の金井健翔(右上)、男子1000㊦タイムトライアルで3位に入った松山学院の中村和樹(下)、女子2000㊦個人追い抜きで3位に入った松山学院の近田ちひろ(左上) | いずれも福岡県北九州メディアドーム(提供写真)



全国高校選抜大会は27日、各地で行われ、愛媛勢は自転車では松山学院勢がメダル、入賞ラッシュとなった。男子3000㊦個人追い抜きで金井健翔、1000㊦タイムトライアルで中村和樹、女子2000㊦個人追い抜きで近田ちひろがそれぞれ3位に入り、同種目で江崎結衣は4位だった。剣道男子の宇和島東は初出場、ベスト16に進出。バドミントン女子シングルの佐々木弥都(新田)はベスト8に進んだ。

◆愛媛勢の成績◆  
▽自転車…  
▽北九州メディアドーム  
▽男子1000㊦タイムトライアル ③中村和樹(松山学院) 1分7秒358  
▽同スプリント1回戦  
▽2組 ②山本達真(松山学院) 1回戦  
▽同ケイリン1回戦  
▽1組 ①河上駿太(松山学院) 11秒048 準決勝進出⑥牧原都真(松山工) 1回戦敗者復活戦  
▽5組 ⑤藤村利騎(松山聖陵)

▽1回戦敗者復活戦へ  
▽同1回戦敗者復活戦  
▽2組 ③藤村利騎(松山聖陵) 2回戦  
▽3組 ②牧原都真(松山工) 2回戦  
▽同3000㊦個人追い抜き3位決定戦

完走 岩村 元嗣(松山学院) 3分31秒83  
芝立命館  
▽同4000㊦速度競走予選  
▽1組 ①阿部優(松山学院) 4分49秒700 準決勝進出  
▽2組 ④河本颯史(松山工) 準決勝進出

▽6組 須崎智彦(松山聖陵) 途中棄権  
▽同準決勝  
▽1組 ②阿部優(松山学院) 決勝進出  
▽2組 ②河本颯史(松山工) 決勝進出  
▽同ポイントレース予選(一方2000㊦)  
▽2組 ②木綿峻介(松山学院) 19点 決勝進出  
▽3組 ②村上ヒカル(松山工) 8点 決勝進出  
▽4組 ⑦栗田想生(松山聖陵) 5点 脱落

▽女子ケイリン1回戦  
▽1組 ①松崎光優(松山学院) 12秒494 準決勝進出  
▽2組 ③三谷優梨(松山聖陵) 準決勝進出  
▽準決勝進出  
▽1組 ②三谷優梨(松山学院) 準決勝進出  
▽同2000㊦個人追い抜き3位決定戦  
完走 江崎結衣(松山学院) 2分36秒17

### 「手応えを得た」金井 「納得いかない」中村 「負けて悔しい」近田

銅メダルを三つ獲得した自転車の松山学院勢。「手応えを得ることができた」(金井健翔)、「納得いかない走りになってしまった」(中村和樹)、「負けた悔しさの方が大きい」(近田ちひろ)。三者三様に受け止め、28日以降はさらに上を目指す。  
金井は昨夏の全国総体で別種目の日本一に立った実力者。今回は「苦手意識の高い種目を克服したい」と

### さらに上へ受け止め三者三様

男子3000㊦個人追い抜きに出た。3位決定戦では前半から突っ込み、最後は「きつかったけど、いい走り」ができた。自身の予選記録を上回るタイムを出した。一方、唇をかむのは男子1000㊦タイムトライアルの中村。練習を重ねてきたスタートに成功し、600㊦のタイムは過去最高だった。が、後半に失速。昨夏の全国総体から一つ順位を上げる結果にも「成長していかない。スタートもスタートもバランスよく鍛えないといけない」と反省の気持ちが上がった。  
2000㊦個人追い抜きの近田は女子のエース格。前日の予選で上位2人に食い込めなかったが、いなきをばねに、3位決定戦では対面を走る後輩の江崎結衣を上回る意地を見せた。「いまある力は出せたが、まだ上(の選手)がいる。苦手な前半のタイム差を縮める必要がある」と課題を口にした。28、29日にも出場種目がある金井と近田はタイトル獲得に闘志を燃やす。中村は「ここで自分が落ち込んでいたらいけない。仲間を鼓舞しチームで勝ちたい」とサポートを誓った。(門屋駿介)